

令和6年度

磐田市の概況

静岡県磐田市議会事務局

このページは、空白です。

心と心の通い合うまち都市宣言

磐田市は、海、山、川などの豊かな自然と古い歴史、高い文化にはぐくまれ、県内有数の工業都市としても発展を続けています。こうしたなか、少子高齢社会の急速な進展や外国人を含めた共生社会への移行など私たちを取り巻く情勢も大きく変化しており、心の豊かさや生活の質の向上が一層求められています。

私たちは、家族、地域、そして、市域全体が協働の理念のもと、ともに助け合い、支え合うまちとなるよう、心にゆとりと潤いを持ち、心と心の通い合う活力ある住みよいまちづくりを推進するため、ここに「心と心の通い合うまち」を宣言します。

スポーツ交流健康都市宣言

数多くのスポーツ資源やスポーツ文化を持つ磐田市では、スポーツと健康への関心が高く、特にスポーツを通じた交流やコミュニティの活性化あるいは健康体力づくりにその役割が期待されています。

磐田市はスポーツをこどもからお年寄りまで、誰もが共有できる市民共通の文化としてとらえ、生涯を通じたスポーツの振興を図ることにより、健康で魅力的な人づくりと地域間交流が盛んな活気あるまちづくりを目指すため、ここに「スポーツ交流健康都市」を宣言します。

核兵器廃絶平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

しかしながら、今も核兵器の拡散が懸念されており、世界各地で繰り返される紛争では現在も尊い命が失われ、多くの人々が傷ついています。

わが国は、世界で唯一の被爆国として、広島と長崎の惨禍を二度と繰り返してはならないと全世界に訴え続けています。

磐田市は、美しい自然と多くの文化遺産を未来へと受け継ぎ、全世界の人々が戦争のない平和な日々を送っていくためにも、すべての核保有国に対し核兵器の廃絶を訴え、かつ、わが国の非核三原則が完全に順守され、原子力が平和的に利用されること及び世界平和の実現を強く希求し、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

平成 21 年 4 月 1 日

❖ 磐田市の市章



いわたの「い」の文字をモチーフに、「新しい時代」を創造するまちの躍動感を表現しています。未来へ伸びる青のラインと緑の円弧は、豊かな自然環境や文化、歴史を活かした、うるおいのある「ゆとりと活力のまち」を、また中央の赤の太陽は、未来への限りない「希望」といきいきとした市民の一体感を象徴しています。

❖ 磐田市の花・木・昆虫 (H21.2.1 制定)

市の花 : ツツジ

開花時期には約 30 種 3,500 株のツツジが咲き誇る「つつじ公園」をはじめ、公園や道路沿い、各家庭の庭先など市内全域に数多く見られ、市民に親しまれている花です。開花時期は4月中旬から5月で、ピンクや赤・白などの美しい花を咲かせます。



市の木 : クスノキ

常緑の大きく成長する木で、市が繁栄していくイメージと重なります。市内に大木がいくつか存在しますが、中でも JR 磐田駅北口にある県指定天然記念物「善導寺大クス」は、推定樹齢約 700 年の大樹で、シンボルにふさわしい印象深い木です。



市の昆虫 : ベッコウトンボ

ベッコウトンボの名前の由来は、羽の模様と体色がべっこう色をしていることです。4 月から 6 月まで見ることができます。このトンボは、絶滅危惧種に指定されており、市内にある「トンボの宝庫」桶ヶ谷沼が国内有数の安定した生息地といわれる希少な昆虫です。



目 次

第1 市 勢

1 沿 革	4
2 市域の変遷	10
3 人口・世帯数の推移	11
4 産 業	13
5 友好都市	17
6 姉妹都市	20

第2 議 会

1 議 員	22
2 歴代議長及び副議長	24
3 委 員 会	25
4 活 動 状 況	27
5 議会事務局機構・職員数	31

第3 行 財 政

1 令和6年度当初予算の概要	32
2 組織機構図	37

第1 市 勢

1 沿 革

平成 17 年 4 月 1 日に旧磐田市、旧福田町、旧竜洋町、旧豊田町、旧豊岡村の 5 市町村が合併して新「磐田市」が誕生しました。

磐田市は日本のほぼ中央、静岡県西部の天竜川左岸に広がる地域で、北部に森林、南部には海岸や天竜川などの河川や桶ヶ谷沼などの豊かな自然に恵まれています。

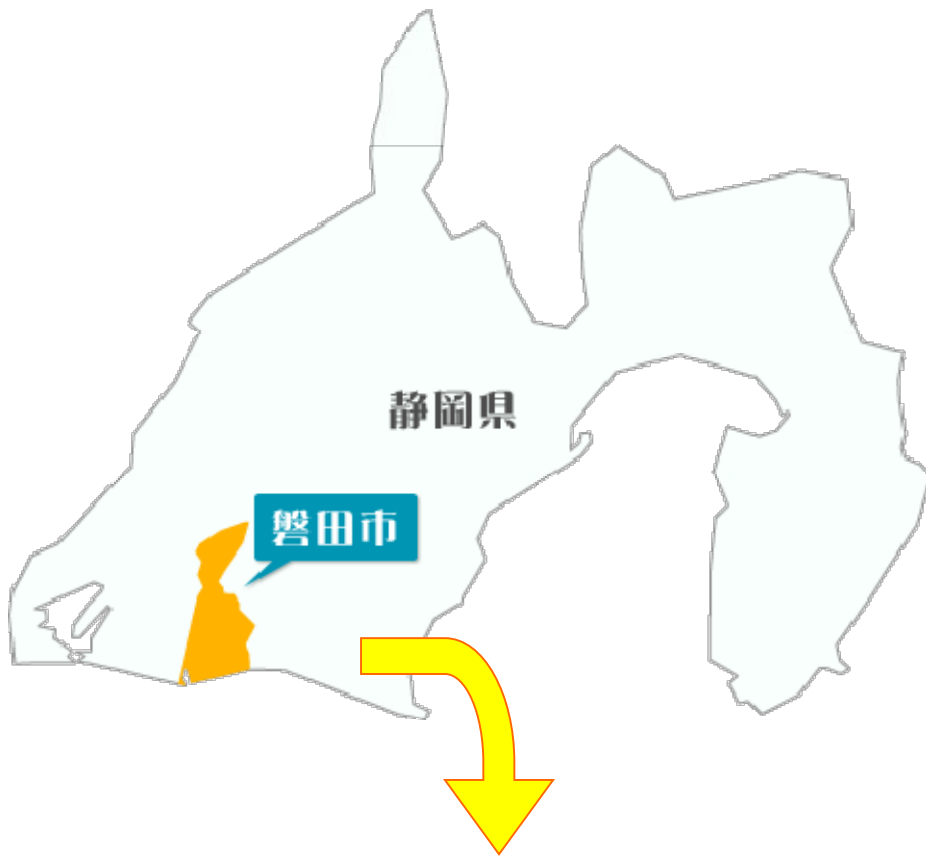
天竜川に育まれたこの地には、早くから人々が住み始めました。今から約 2 万年前の旧石器時代からの遺跡や、約 900 基余りの古墳群がそれを伝えています。また、奈良時代には国府が置かれ、江戸時代には東海道などが通り、また、海運の要衝として繁栄しました。

近年では、地場産業である繊維産業に加え、金属、自動車、楽器などの工業都市として、市全体の製造品出荷額は県下第 4 位、農業産出額も県内屈指で、農・水産物として温室メロンや茶、白ねぎ、海老芋、中国野菜、シラスなどが有名です。都市部と農村部が均衡ある発展をしている地域です。

交通は、東海道の中間地点に位置し、交通の要所として発展してきた地域であるため、東西方向の交通体系に恵まれています。鉄道は、東海道本線が市の中央部を横断し、天竜浜名湖鉄道が市の北部を横断しており、住民の交通手段として日々利用されています。

また、道路は、東名高速道路、新東名高速道路、国道 1 号、国道 150 号・150 号バイパスの主要道があります。

市 役 所 及 び 支 所 の 所 在 地	磐田市役所	磐田市国府台 3 番地 1
	福田支所	磐田市福田 4 0 0 番地
	竜洋支所	磐田市岡 7 2 9 番地 1
	豊田支所	磐田市上新屋 3 0 4 番地 アミューズ豊田内
	豊岡支所	磐田市下野部 4 8 番地
長 さ	東 西	1 1 . 5 k m
	南 北	2 7 . 1 k m
面 積	1 6 3 . 4 5 k m ²	



○ 市施行後の主な出来事

年	主 な 出 来 事
平成17年	<p>5市町村の合併により新「磐田市」誕生 「ふるさと先生」による35人学級が実現 市長・市議会議員選挙で初代市長に鈴木望氏 合併記念式典で新市章を披露 遠州豊田PA周辺土地区画整理組合発足 磐田ドリームラジオ放送開始 「福田産」布地の新ブランド「ソルブレベコ」発表</p>
平成18年	<p>多文化交流センター「こんにちは」オープン 地域包括支援センターを市内3箇所に開設 「スポーツのまちづくり磐田ボランティアクラブ」発足 中川ポンプ場完成 上下水道料金のコンビニ納付始まる。 全国国分寺サミット・遠江国分寺まつり開催 ジュビロカップ第1回タグラグビー大会開催</p>
平成19年	<p>中遠広域事務組合の一般廃棄物最終処分場が森町一宮に完成 新市まちづくりの基本「磐田市総合計画」策定 遠州豊田PAのスマートインターチェンジが本格導入 「いわたホッとライン」サービス開始 男女共同参画センター「ともりあ」がオープン 「リバーラ磐田」の市営駐車場がオープン</p>
平成20年	<p>教育支援センター（適応指導教室）が完成 国道1号新天竜川橋8車線供用開始で完成式 磐田市歴史文書館を竜洋支所に設置 豊岡東公民館が完成 市内77の公共施設で指定管理者制度を導入 大原学校給食センターが稼働を開始 iプラザ（総合健康福祉会館）が完成 福田・竜洋・豊田・豊岡の4商工会が合併契約調印式</p>
平成21年	<p>3つの都市宣言制定 市道2路線ネーミングライツ・パートナー合意書調印式 第2代市長に渡部修氏 大型商業施設「ららぽーと磐田」がグランドオープン 国民文化祭を市内で開催 磐田市立総合病院に周産期母子医療センター竣工</p>

平成22年	<p>磐田市立総合病院周産期母子医療センター 受け入れ開始</p> <p>消防の広域化 枠組み決定</p> <p>一校一農園事業 豊岡南小学校で開始</p> <p>E V 事業の推進 電気自動車普及協議会へ市町で初めて参加</p> <p>在宅介護手当を「は〜とふる商品券」で支給</p> <p>中学生を広島平和記念式典に公式派遣</p> <p>南部救急医療機関の方針決定</p> <p>デマンドタクシー「竜洋地区デマンド型乗合タクシー（竜タク）」スタート</p>
平成23年	<p>市と市医師会が救急医療施設基本合意書に調印</p> <p>東日本大震災 磐田市でも大津波警報発表</p> <p>J R 磐田駅前ジュビロードで市内初の軽トラ市開催</p> <p>新クリーンセンターが完成</p> <p>市内小学5・6年生約3,200人がジュビロ磐田ホームゲームを一斉観戦</p> <p>津波避難啓発看板の設置を開始</p> <p>岡山県玉野市と災害時相互応援協定を締結</p> <p>全国E V サミット in しずおか開催</p>
平成24年	<p>沿岸部に津波避難タワー6基が同時に完成</p> <p>磐田市イメージキャラクターが「しっぺい」に決定</p> <p>福田支所に「中東遠消防指令センター」完成</p> <p>学習交流センター（天平のまち）の開設</p> <p>防災センター建設</p>
平成25年	<p>磐田市長選挙・磐田市議会議員選挙 渡部修氏再選</p> <p>国土交通大臣から（仮称）新磐田スマート I C 設置許可</p> <p>「しっぺい」がゆるキャラグランプリ 2013 で第9位</p> <p>中学生海外派遣事業を初めて実施（中学生10人がベトナム訪問）</p> <p>磐田市急患センター開設</p> <p>明ヶ島古墳群出土土製品が磐田市初の重要文化財に</p> <p>全日本高等学校女子サッカー選手権大会 初めての冬開催</p>
平成26年	<p>JR 東海道本線新駅設置に関する基本協定を締結</p> <p>ふるさと納税制度件数10,000件・金額1億円達成</p> <p>津波対策防潮堤整備を表明</p> <p>磐田市合併10周年記念キャッチフレーズ&ロゴマーク決定</p> <p>今之浦第4ポンプ場完成</p> <p>北部地域包括支援センター新築</p> <p>「しっぺい」がゆるキャラグランプリ 2014 で第10位</p> <p>磐田市子育て情報サイト開設</p>

平成27年	<p>磐田市市制10周年記念式典の開催 磐田市歌「ふるさといわた」の制定 こども憲章の制定 JR磐田駅北口広場の整備 交流センターの開設（豊岡交流センター新設） 保育所待機児童ゼロを達成 公立幼稚園全園での預かり保育実施 デマンド型乗合タクシーの市内全域への拡大 磐田スマートアグリカルチャー事業の推進 岡山県玉野市との友好都市提携</p>
平成28年	<p>磐田市渚の交流館のオープン （仮）磐田新駅・（都）磐田新駅南北連絡線事業に着手 リオ五輪で水谷隼選手・伊藤美誠選手メダル獲得・凱旋報告 下野部工業団地の竣工 認知症地域支援推進員の配置 スポーツ部活「陸上競技」「ラグビー」活動開始 2016磐田U-12国際少年サッカー大会の開催 市道西貝塚大原線南大橋の開通</p>
平成29年	<p>磐田市長選挙・磐田市議会議員選挙 渡部修氏3度目の当選 こども医療費完全無料化（中学生以下） 第52回全日本サーフィン選手権大会豊浜海岸で開催 県内初開催「全国軽トラ市 in いわた」開催 駒ヶ根市友好都市提携50周年 児童発達支援と就労支援の一体型施設「聖隷ぴゅあセンター磐田」の開設 大池周辺の公園化整備 コワーキングスペースの整備（「はじまりのオフィス」オープン）</p>
平成30年	<p>台風24号が上陸 市内の広範囲で停電発生 ひと・ほんの庭 にこっと がオープン 卓球全日本選手権で水谷隼選手がダブルス優勝、伊藤美誠選手が三冠達成 伊藤美誠選手がスウェーデンオープン優勝 磐田卓球場（ラリーナ）・アーチェリー場がオープン ラグビーワールドカップ2019TM 日本大会の公認チームキャンプ地に決定</p>
令和元年	<p>証明書コンビニ交付サービス開始 渚の交流館入館者50万人達成 磐田なかよしこども園新園舎完成 磐田市合葬墓完成 磐田市こども・若者相談センター開設 ながふじ学府一体校建設工事安全祈願祭催行 ラグビーワールドカップパブリックビューイング開催</p>

令和 2 年	<p>J R 御厨駅完成</p> <p>磐田市合併 15 周年スタート</p> <p>磐田サポートハウス「ほっと」開設</p> <p>ふるさといわた学生応援事業開始</p> <p>磐田市情報館リニューアル</p> <p>万瀬財産区と静岡大学が区有林活用に係る協定締結</p> <p>プレミアム商品券「いわた応援チケット」販売開始</p> <p>防災用トイレトラック導入</p>
令和 3 年	<p>磐田市民文化会館の愛称「かたりあ」に決定</p> <p>新しくなった今之浦公園オープン</p> <p>「ながふじ学府小中一体校」開校</p> <p>子育て支援センター「たち」開所</p> <p>磐田市長選挙 草地博昭氏初当選(無投票)</p> <p>磐田市議会議員選挙</p> <p>「ゼロカーボンシティ」表明</p> <p>「新磐田スマートインターチェンジ」開通</p> <p>水谷隼選手・伊藤美誠選手の磐田ペア東京 2020 オリンピック金メダル獲得</p> <p>民間調査会社ランキングスポーツのまち「全国第 1 位」</p> <p>防災備蓄ステーション完成</p> <p>ジュビロ磐田 J 1 昇格・J 2 リーグ優勝決定</p>
令和 4 年	<p>台風 15 号により市内に大きな被害が発生</p> <p>磐田市民文化会館「かたりあ」開館</p> <p>不発弾(直径約 36 cm・長さ約 118 cm)を小立野で見発見 無事撤去</p> <p>磐田東高校男子サッカー部 17 年ぶりに県高校総体優勝</p> <p>今之浦公園の歩道橋完成 全面供用開始</p> <p>寺谷用水が「世界かんがい施設遺産」に登録</p>
令和 5 年	<p>ジュビロ磐田 J 1 昇格! 横内磐田で J 1 へ!</p> <p>台風第 2 号により 2 年連続で甚大な自然災害が発生</p> <p>「スポーツのまち」として思い浮かぶ全国市町村ランキングで 1 位返り咲き</p> <p>J R 磐田駅前に県内初の夜間中学「県立ふじのくに中学校」開校</p> <p>「2023 いわた夏まつり花火大会」市内 5 か所で花火が夜空を彩る</p>

3 人口・世帯数の推移

(1) 住民基本台帳世帯数・人口の推移（各年3月末現在）

年次	住民基本台帳				1世帯 の人員	人口密度 (人/k㎡)	面積 k㎡	
	世帯数	人口						
			総数	男	女			
平成17年	磐田	30,550	86,649	43,713	42,936	2.8	1,348	64.27
	福田	5,747	19,564	9,691	9,873	3.4	1,179	16.59
	竜洋	5,904	19,051	9,489	9,562	3.2	807	23.62
	豊田	9,614	29,051	14,658	14,393	3.0	1,466	19.82
	豊岡	3,272	11,548	5,773	5,775	3.5	290	39.78
	計	55,087	165,863	83,324	82,539	3.0	1,011	164.08
令和5年	磐田	39,805	91,517	46,327	45,190	2.3	1,024	163.45
	福田	6,986	16,941	8,577	8,364	2.4		
	竜洋	7,770	18,226	9,214	9,012	2.3		
	豊田	12,181	30,026	15,103	14,923	2.5		
	豊岡	3,964	10,665	5,457	5,208	2.7		
	計	70,706	167,375	84,678	82,697	2.4		
令和6年	磐田	39,939	90,850	46,009	44,841	2.3	1,017	163.45
	福田	7,038	16,720	8,461	8,259	2.4		
	竜洋	7,931	18,203	9,221	8,982	2.3		
	豊田	12,356	29,973	15,058	14,915	2.4		
	豊岡	4,019	10,561	5,425	5,136	2.6		
	計	71,283	166,307	84,174	82,133	2.3		

資料：住民基本台帳（総務課）

(2) 地区別世帯数・人口の推移（各年3月末現在）

地区名	世帯数			人口			
	平成17年	令和5年	令和6年	平成17年	令和5年	令和6年	
総数	55,087	70,706	71,283	165,863	167,375	166,307	
磐田	見付	8,478	10,566	10,653	23,594	24,605	24,605
	今之浦	825	1,155	1,096	1,753	2,183	2,034
	中泉	6,775	8,676	8,711	17,539	18,629	18,486
	天竜	2,892	4,487	4,559	8,432	9,923	9,972
	西貝	2,268	2,848	2,896	5,748	6,566	6,538
	大藤	1,403	1,688	1,670	4,513	4,371	4,324
	向笠	1,241	1,504	1,466	4,126	3,684	3,599
	御厨	733	1,498	1,515	2,489	3,762	3,769
	南御厨	1,194	1,290	1,285	3,530	3,094	3,009
	長野	2,249	2,595	2,628	7,136	6,372	6,306
	岩田	606	729	726	2,209	1,959	1,930
	田原	1,230	1,943	1,930	3,626	4,426	4,384
	於保	656	826	804	1,954	1,943	1,894
	福田	福田	4,786	5,893	5,944	16,003	14,188
豊浜		961	1,093	1,094	3,561	2,753	2,683
竜洋	西	3,325	4,407	4,543	10,211	9,981	10,033
	東	1,249	1,700	1,711	4,315	3,991	3,953
	北	1,330	1,663	1,677	4,525	4,254	4,217
豊田	富岡	1,367	1,588	1,628	4,619	4,280	4,275
	豊田東	1,176	1,750	1,779	3,517	4,539	4,518
	池田	1,495	1,888	1,900	4,435	4,490	4,482
	井通	2,701	3,261	3,317	7,819	7,813	7,804
	青城	2,875	3,694	3,732	8,661	8,904	8,894
豊岡	北	1,114	1,458	1,489	4,034	3,801	3,778
	南	1,551	2,096	2,116	5,904	5,774	5,710
	東	337	410	414	1,299	1,090	1,073
	自治会外	270	-	-	311	-	-

資料：住民基本台帳（総務課）

※豊岡自治会外は特別養護老人ホーム。

(3) 年齢別人口

令和6年3月末現在

年 齢	男	女	総 数
0歳～4歳	2,651	2,633	5,284
5歳～9歳	3,629	3,349	6,978
10歳～14歳	3,970	3,878	7,848
15歳～19歳	4,115	3,876	7,991
20歳～24歳	4,448	3,557	8,005
25歳～29歳	4,719	3,496	8,215
30歳～34歳	4,502	3,745	8,247
35歳～39歳	4,985	4,461	9,446
40歳～44歳	5,723	5,162	10,885
45歳～49歳	6,308	5,801	12,109
50歳～54歳	6,510	5,907	12,417
55歳～59歳	5,259	4,947	10,206
60歳～64歳	4,929	4,749	9,678
65歳～69歳	5,169	5,166	10,335
70歳～74歳	5,888	6,228	12,116
75歳～79歳	5,119	5,533	10,652
80歳～84歳	3,508	4,182	7,690
85歳～89歳	1,834	2,940	4,774
90歳～94歳	719	1,765	2,484
95歳～99歳	175	645	820
100歳以上	14	113	127
合 計	84,174	82,133	166,307

資料：住民基本台帳(総務課)

(4) 国籍別外国人人口(各年3月末現在)

区分	合計	ブラジル	フィリピン	中国	インドネシア	ペルー	ベトナム	韓国・朝鮮	タイ	その他
平成17年	8,472	6,421	717	537	176	225	27	151	35	183
令和5年	9,210	5,214	1,432	457	437	266	681	106	157	460
令和6年	9,728	5,163	1,566	475	586	267	827	106	158	580

資料：平成17年 外国人登録

令和5年、令和6年 住民基本台帳(市民課)

4 産 業

(1) 農 業

① 専業兼業別農家数 (単位：戸)

年次	農家戸数	販売農家			自給的農家
		専業	第1種兼業	第2種兼業	
令和2年	2,169	991			1,178

(資料：2020年農林業センサス)

② 耕地面積 (単位：ha)

年次	耕地面積	田	畑
令和5年	4,270	2,300	1,970

(資料：令和5年耕地面積調査)

③ 組織形態別経営体数 (単位：経営体)

個人経営	団体経営	農業経営体数
1,015	26 (25)	1,041 (25)

(資料：2020年農林業センサス) ※カッコ書き数値は、法人経営体の数

④ 規模別経営体数 (単位：経営体)

規模別	農業経営体数	規模別	農業経営体数
0.3ha未満	187	1.5～2.0ha	50
0.3～0.5ha	173	2.0～3.0ha	52
0.5～1.0ha	293	3.0ha以上	159
1.0～1.5ha	127	計	1,041

(資料：2020年農林業センサス)

(2) 林 業

① 林野面積 (面積単位：ha)

年次	全域面積	森林面積	森林率 (%)	森林面積内訳				人工林面積	人工林率 (%)
				県有林	市有林	財産区有林	その他		
令和5年	16,345	2,605.62	15.94	142.62	26.16	532.58	1,904.26	1,430.79	54.91

資料：令和5年度版静岡県森林・林業統計要覧

② 林業経営体 (単位：経営体)

年次	林業経営体数
令和2年	6

資料：2020年農林業センサス

③ 特用林産物

年次	乾しいたけ (t)	生しいたけ (t)	なめこ (t)	ひらたけ (t)
令和5年	0.3	15.2	0.01	0.02

資料：令和5年特用林産物生産統計調査

(3) 水産業

① 登録・利用漁船

年次	登録漁船		利用漁船					
	隻数	総トン数	総数		地元船		外来船	
令和4年	128	834	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
			121	905	117	810	4	95

資料：港勢調査（農林水産課）

② 水産物の陸揚量

年次	属人漁獲量（t）	属地陸揚量（t）	属地陸揚金額	陸揚金額
令和4年	569	569	417百万円	732円/kg

資料：港勢調査（農林水産課）

③ 漁業経営体数及び従事者数

区分		経営体数	海上作業従事者数（人）	漁船数（隻）
平成30年	磐田	79	174	67

資料：2018年 漁業センサス

④ 漁獲量の推移

（単位：t）

年次	しらす	とらふぐ	太刀魚	かつお	鯛	いか	貝類	その他	総漁獲量
平成19年	1,574	16	2	7	-	-	13	4	1,616
平成20年	1,485	10	2	16	-	-	2	6	1,521
平成21年	1,355	10	2	12	-	2	8	6	1,395
平成22年	1,430	5	2	3	-	-	5	5	1,450
平成23年	1,866	2	2	1	-	-	6	5	1,882
平成24年	1,600	2	2	4	-	-	6	3	1,617
平成25年	1,387	1	2	8	-	-	2	3	1,403
平成26年	1,748	1	1	1	-	-	3	3	1,757
平成27年	1,779	1	1	-	-	-	0	1	1,783
平成28年	1,624	1	3	6	-	-	-	2	1,636
平成29年	923	-	1	4	-	-	-	2	930
平成30年	1,088	1	1	9	-	-	1	1	1,101
令和元年	941	-	4	8	-	-	-	2	955
令和2年	1,101	-	4	2	-	-	-	1	1,108
令和3年	1,080	-	4	5	-	-	-	1	1,090
令和4年	563	-	3	2	-	-	-	1	569

資料：港勢調査（農林水産課）

(4) 工業

① 工業の推移（従業者4人以上の事業所）

	事業所数	従業者数	現金給与総額 (万円)	原材料使用額等 (万円)	製造品出荷額等 (万円)
平成17年	751	39,395	19,472,227	107,020,610	206,790,025
令和2年	511	36,428	19,023,235	71,815,440	141,375,900
令和3年	621	37,358	19,560,204	84,472,335	149,823,536

資料：総務課（令和2年は令和3年経済センサス-活動調査）

総務省・経済産業省（令和3年は2022年経済構造実態調査）

※経理項目は表示年次1年間、経理項目以外は表示年次の翌年6月1日現在の数値。

※工業統計調査、令和3年経済センサス-活動調査は、従業者が3人以下の事業所は集計対象外。

② 産業分類別事業所数・従業者数・製造品出荷額等[令和3年]

産業分類	事業所数	従業者数（人）	製造品出荷額等 (万円)
総数	621	37,358	149,823,536
09 食料品製造業	27	1,316	4,069,888
10 飲料・たばこ・飼料製造業	14	442	21,755,350
11 繊維工業	33	631	1,149,529
12 木材・木製品製造業（家具を除く）	12	248	661,171
13 家具・装備品製造業	11	192	253,545
14 パルプ・紙・紙加工品製造業	6	248	X
15 印刷・同関連業	21	642	1,482,726
16 化学工業	13	1,210	6,404,442
17 石油製品・石炭製品製造業	1	4	X
18 プラスチック製品製造業（別掲を除く）	46	2,187	5,792,809
19 ゴム製品製造業	12	293	562,388
20 なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-
21 窯業・土石製品製造業	12	234	798,042
22 鉄鋼業	13	207	1,921,058
23 非鉄金属製造業	9	767	5,384,175
24 金属製品製造業	89	1,877	3,245,793
25 はん用機械器具製造業	23	753	1,097,946
26 生産用機械器具製造業	86	1,414	2,932,566
27 業務用機械器具製造業	10	139	608,714
28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	9	2,574	7,543,779
29 電気機械器具製造業	26	834	2,218,168
30 情報通信機械器具製造業	-	-	-
31 輸送用機械器具製造業	111	19,480	76,940,359
32 その他の製造業	37	1,666	3,547,949

資料：総務課・経済産業省（2022年経済構造実態調査）

③ 工業の位置

※各年6月1日現在

事業所数(事業所)※	令和3年	令和4年	構成比(%)	前年比(%)
静岡県	8,602	10,526	100.0	22.4
市計	8,053	9,861	93.7	22.5
郡計	549	665	6.3	21.1
*令和4年 上位10市				
1 浜松市	1,783	2,319	22.0	30.1
2 静岡市	1,309	1,673	15.9	27.8
3 富士市	775	885	8.4	14.2
4 磐田市	511	621	5.9	21.5
5 焼津市	501	578	5.5	15.4
6 沼津市	465	545	5.2	17.2
7 掛川市	332	391	3.7	17.8
8 富士宮市	334	378	3.6	13.2
9 藤枝市	299	360	3.4	20.4
10 島田市	295	350	3.3	18.6

従業者数(人)※	令和3年	令和4年	構成比(%)	前年比(%)
静岡県	401,827	404,241	100.0	0.6
市計	374,874	377,148	93.3	0.6
郡計	26,953	27,093	6.7	0.5
*令和4年 上位10市				
1 浜松市	66,522	71,143	17.6	6.9
2 静岡市	48,131	49,760	12.3	3.4
3 磐田市	36,428	37,358	9.2	2.6
4 富士市	35,036	34,522	8.5	△ 1.5
5 湖西市	23,692	23,742	5.9	0.2
6 掛川市	19,717	19,909	4.9	1.0
7 富士宮市	23,860	19,426	4.8	△ 18.6
8 沼津市	18,034	17,606	4.4	△ 2.4
9 焼津市	16,438	16,366	4.0	△ 0.4
10 袋井市	13,497	13,760	3.4	1.9

製造品出荷額等(百万円)	令和2年	令和3年	構成比(%)	前年比(%)
静岡県	16,451,286	17,290,539	100.0	5.1
市計	15,279,096	16,080,673	93.0	5.2
郡計	1,172,190	1,209,867	7.0	3.2
*令和3年 上位10市				
1 静岡市	2,057,410	2,237,585	12.9	8.8
2 浜松市	1,823,761	2,003,353	11.6	9.8
3 湖西市	1,649,184	1,570,841	9.1	△ 4.8
4 磐田市	1,413,759	1,498,235	8.7	6.0
5 富士市	1,355,083	1,464,085	8.5	8.0
6 掛川市	1,187,732	1,330,887	7.7	12.1
7 牧之原市	969,429	908,120	5.3	△ 6.3
8 富士宮市	832,859	741,022	4.3	△ 11.0
9 沼津市	623,143	659,154	3.8	5.8
10 袋井市	572,691	623,121	3.6	8.8

資料：総務課(令和元年は工業統計調査、令和2年は令和3年経済センサス-活動調査)
 総務省・経済産業省(令和3年・4年：2022年経済構造実態調査)

5 友好都市

駒ヶ根市（長野県） 【提携年月日 昭和42年1月12日】

【提携の動機と経過】

旧磐田市と駒ヶ根市は、約700年前から伝わる悉平太郎(しっぺいたろう)の伝説をもとに、遠い昔から、けわしいアルプスを越えて、友好交流が進められてきました。

こうした両市の人々で温められてきた友好をさらに広げて、一層の交流事業の推進を図り、両市の活性化と発展のため、昭和42年に友好都市提携の調印を行いました。

現在の交流は、市民各層において行われ、文化・スポーツなどの団体等による交流が進められています。

【駒ヶ根市の概要】

- 市制施行 昭和29年7月1日
- 人口 31,213人（令和6年4月1日現在）
- 特色 信州伊那谷のほぼ中央に位置している駒ヶ根市は、西に銀嶺に輝く中央アルプスの駒ヶ岳を仰ぎ、駒ヶ根高原や駒ヶ岳ロープウェイの起点となっている景勝の都市です。また、スキー場などの観光開発が進められ、四季を通して県内外から非常に多くの観光客が訪れています。

伊那市（長野県） 【提携年月日 昭和59年8月1日】

【提携の動機と経過】

友好提携を結ぶ10年ほど前に旧福田町民が長谷小学校6年生の子どもたちを招待。子どもたちは関係者の歓迎ぶりや海岸などの自然に深く感動しました。その子どもたちが青年になり、村長に友好提携を進めたことがきっかけで、旧長谷村と昭和59年に友好提携を結びました。

旧長谷村は天竜川上流部に位置する「山の村」、旧福田町は天竜川河口近くに位置し、太平洋に面した「海の町」です。両町村は天竜川で結ばれているという地理的特色を生かした中で、市民各層においての交流が行われています。旧長谷村は平成18年3月31日、合併して「伊那市」となりました。

【伊那市の概要】

- 市制施行 平成18年3月31日（合併期日）
- 人口 63,916人（令和6年4月1日現在）
- 特色 長野県の南部に位置し、南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスに抱かれ、市の中央部を天竜川と三峰川が流れる豊かな自然と歴史・文化が育まれた自然共生都市です。

◆ 喬木村（長野県） 【提携年月日 昭和 58 年 11 月 21 日】 ◆

【提携の動機と経過】

旧竜洋町と喬木村は、天竜川が取り持つ縁で昭和58年11月21日に友好町村提携を結び、交流が進められてきました。

現在は、両体育協会陸上部の駅伝大会参加、農業・漁業振興会による竜洋海洋フェスタでの特産品紹介といった交流を行っています。

【喬木村の概要】

- 村制施行 明治 8 年 1 月 30 日
- 人 口 5,628 人（令和 6 年 4 月 1 日現在）
- 特 色 喬木村は、天竜川東側の伊那谷盆地中央部に位置し、四季の変化が明瞭で自然豊かな村です。河岸段丘の農地の 6 割が畑で、いちごとりんごの木のオーナー制の先進地です。喬木村出身の童話作家、椋鳩十氏をたたえて建設された「椋鳩十記念館・図書館」や、5 月に開花期を迎える阿島の大藤などの施設名所には、多くの人を訪れています。

◆ 中野市（長野県） 【提携年月日 平成 15 年 5 月 3 日】 ◆

【提携の動機と経過】

長野県下水内郡豊田村は平成 17 年 4 月 1 日に中野市と合併し、新「中野市」となりました。旧豊田村と旧豊田町は、同じ「豊田」を名称とする縁で交流が始まりました。

自然環境や風土が違う町村同士の交流は、両町村のためにも次代を担う子どもたちの将来のためにも意義のあることだという考えの下、平成 15 年に熊野伝統芸能館の能舞台で友好都市提携の調印を行いました。

現在は市民各層において交流を深めています。

【中野市の概要】

- 市制施行 平成17年 4 月 1 日（合併期日）
- 人 口 40,680 人（令和 6 年 4 月 1 日現在）
- 特 色 長野県北東部に位置する中野市は、斑尾山や高社山など象徴的な山々を背景として、千曲川や夜間瀬川などが流れ、四季折々に美しい風景を見ることができます。
また、作曲家中山晋平氏や、「春の小川」や「ふるさと」などの唱歌を作詞した高野辰之氏の出身地です。

◆ 玉野市（岡山県） 【提携年月日 平成27年11月8日】 ◆

◆ 【提携の動機と経過】 ◆

磐田市と玉野市は、世界で初めて空を飛んだとされる鳥人幸吉（浮田幸吉）を通じた縁で市民交流が始まり、相互に地域の祭りに参加したり、少年サッカー大会が開催されたりするなど、交流の歴史を積み重ねてきました。平成23年10月には広域災害のリスク分散を目的に、災害時相互応援に関する協定を締結しました。

◆ 【玉野市の概要】 ◆

- 市制施行 昭和15年8月3日
- 人口 54,626人（令和6年3月31日現在）
- 特色 岡山県南端に位置し、瀬戸内海の美しい自然に恵まれた、風光明媚で気候の温暖なところです。明治時代に築港された宇野港を中心に本土と四国を結ぶ海上交通の要衝として栄えた地域です。

6 姉妹都市

◆ ダグパン市（フィリピン共和国パンガシナン州） ◆

◆ 【提携年月日 昭和50年2月19日】 ◆

【提携の動機と経過】

昭和48年8月6日ダグパン市マナオイス市長夫妻が産業視察のため来日するに当たり、便宜を図ったことが縁で磐田市を訪問。マナオイス市長は「貴市を訪問して、規模といい、人情といい、姉妹都市にふさわしい都市と思った。貴市と仲良く手を結んで日比両国の平和につくしたい。」と言い、早速議会に磐田市との姉妹都市提携を提案し、その議決書を送ってきました。

これに対して磐田市でも昭和49年3月に姉妹都市提携の議決をし、昭和50年2月19日市長、正副議長がダグパン市に赴き調印を行いました。

平成7年には姉妹都市提携20周年を記念してフェルナンデス市長が来磐し、平成18年には30周年を記念してベンジャミン市長が来磐しました。

【ダグパン市の概要】

- 位 置 ルソン島北部西側の南支那海沿岸のパンガシナン州の中北部に位置し、首都マニラの北方212キロメートルのところにあつて、車で約4時間でいくことができます
- 人 口 183,385人（平成27年現在）
- 特 色 市の5分の1がバグース（ミルクフィッシュ）の養魚池となっており、エビ、カニ、二枚貝の養殖も盛んであり、その他ココナツ菓子、バコーン（魚肉の練りもの）、サッシ（窓枠）などの製造も盛んです。

◆ マウンテンビュー市（アメリカ合衆国カリフォルニア州） ◆

◆ 【提携年月日 昭和51年6月4日】 ◆

【提携の動機と経過】

昭和48年6月3日磐田市商業青年の全米流通視察団がマウンテンビュー市を訪問したのが両市の友情の芽生えとなりました。翌年4月市長アンダーソン氏が来磐、この時姉妹都市提携の具体的な話が出されました。磐田市では、民間交流を基調に進めるため、ハム通信、文通、写真等の交換を行い、縁組の機が熟するのを待って昭和50年6月に姉妹都市提携の議決を行い、翌51年6月4日市長をはじめ市民55名がマウンテンビュー市を訪問し、調印を行いました。現在は両市友好姉妹都市協会を中心に市民主導の国際交流が行われています。

【マウンテンビュー市の概要】

- 位 置 サンフランシスコ半島の中心部にあり、アメリカ国内及び外国の主要都市と直結するサンフランシスコ国際空港へ 40 分、サンノゼの地方空港へは 25 分で行くことができます。
- 人 口 76,260 人（平成 26 年 1 月 1 日現在）
- 特 色 コンピューターや情報産業の世界的な中心地であるシリコンバレーに位置するまちとして広く知られています。電子工学産業分野の企業によるコンピューター・システム、ソフトウェア、半導体、集積回路、電子医療機器などの研究開発は世界の最高水準にあります。また、スペースシャトルなどで有名なNASAの研究所があることでも知られています。

第2 議 会

1 議 員

(1) 議員定数

条例定数 26人

現議員数 25人(男:22、女:3)

(2) 議員名簿

令和6年6月1日現在

◎委員長 ○副委員長

議席	政 党 等	会 派	氏 名	年 齢	住 所	常 任 委 員 会 等	
1	無所属	せいわ会	加藤 公人	53	豊浜中野1226番地1	建設産業	○ 広報広聴
2	無所属	磐田の底力	柏木 健	55	万正寺1329番地	建設産業	
3	無所属	市民と創る磐田	鈴木 弥栄子	61	西島281番地3	建設産業	議会運営
4	無所属	せいわ会	本間 昭男	63	野箱271番地	民生教育	
5	無所属	せいわ会	平田 直巳	65	豊岡6605番地41	総務	議会運営
6	無所属	志政会	八木 義弘	71	見付1600番地26	○ 建設産業	議会運営
7	無所属	市民と創る磐田	山下 千賀子	72	敷地508番地	民生教育	広報広聴
8	無所属	志政会	秋山 勝則	49	神増321番地2	総務	議会運営
9	無所属	せいわ会	小栗 宏之	58	掛塚961番地1	総務	○ 議会運営
10	公明党	公明党磐田	江塚 学	59	鎌田2017番地	○ 総務	広報広聴 議会運営
11	無所属	志政会	小池 和広	61	池田1300番地	建設産業	
12	無所属	せいわ会	戸塚 邦彦	64	二之宮1402番地	◎ 建設産業	
13	無所属	せいわ会	鈴木 正人	66	社山584番地1	○ 民生教育	
14	無所属	志政会	鳥居 節夫	68	下万能159番地4	◎ 民生教育	議会運営
15	無所属	志政会	小柳 貴臣	69	国府台100番地11	◎ 総務	広報広聴
16	無所属	志政会	永田 隆幸	69	篠原41番地	民生教育	◎ 広報広聴
17	無所属	愛和	芦川 和美	48	蛭池226番地9	民生教育	
18	無所属	新磐田	芥川 栄人	59	池田1134番地7	総務	◎ 予算決算 ◎ 議会運営
19							
20	無所属	新磐田	加藤 文重	61	二之宮浅間2番地20	建設産業	
21	無所属	志政会	寺田 幹根	67	福田1500番地	建設産業	
22	無所属	新磐田	松野 正比呂	67	見付538番地2	総務	広報広聴 副議長
23	公明党	公明党磐田	鈴木 喜文	67	中泉3012番地10		議長
24	日本共産党	日本共産党 磐田市議団	根津 康広	68	笠梅167番地1	民生教育	議会運営
25	日本共産党	日本共産党 磐田市議団	高梨 俊弘	70	国府台648番地1	総務	○ 予算決算 広報広聴
26	無所属	志政会	岡 實	76	豊岡6153番地4	民生教育	

※予算決算委員会は全議員(議長を除く)が委員会に所属

(3) 党派別構成 (単位：人) (令和6年6月1日現在)

日本共産党	公明党	無所属
2	2	21

(4) 会派別構成 (単位：人) (令和6年6月1日現在)

志政会	せいわ会	新磐田	日本共産党 磐田市議団	公明党 磐田	市民と創る 磐田	愛和	磐田の 底力
8	6	3	2	2	2	1	1

(5) 年齢別内訳 (単位：人) (令和6年6月1日現在)

40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	平均
2	5	14	4	63.4歳

(6) 報酬・手当・費用弁償等 (令和6年6月1日現在)

職名	報酬月額	期末手当		日当 (1日)	宿泊料 (1夜)
議長	520,000円	340/100 (内訳) 6月	加算率 15/100	1,500円	★ (甲地方) 13,100円
副議長	470,000円				
常任委員長	440,000円	170.0/100 12月			(乙地方) 11,800円
議運委員長	440,000円				
議員	430,000円	170.0/100			

★甲地方とは、さいたま市、千葉市、東京都特別区、横浜市、川崎市、相模原市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市及び福岡市をいい、乙地方とは、甲地方以外の地域をいう

※費用弁償(本会議・常任委員会・議会運営委員会・特別委員会(法設置に限る)に出席した場合)はH20.5.15から廃止。

また、食卓料はH23.4.1から廃止

(参考) 特別職の報酬・手当・費用弁償等 (令和6年6月現在)

職名	給料月額	期末手当		日当 (1日)	宿泊料 (1夜)
市長	960,000円	450/100 (内訳) 6月	加算率 15/100	1,500円	★ (甲地方) 13,100円
副市長	780,000円				
教育長	710,000円	225/100 12月			(乙地方) 11,800円
		225/100			

★甲地方とは、さいたま市、千葉市、東京都特別区、横浜市、川崎市、相模原市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市及び福岡市をいい、乙地方とは、甲地方以外の地域をいう

(7) 議長交際費

400,000円 (平成22年度から)

(8) 行政視察旅費

常任委員会 (総務・民生教育・建設産業)

1人当たり予算額 76,300円 (2泊3日以内)

常任委員会 (広報広聴委員会)

1人当たり予算額 41,000円 (1泊2日以内)

議会運営委員会 1人当たり予算額 41,000円 (1泊2日以内)

(9) 政務活動費

交付対象 会派 (1人会派を含む)

交付額 年額300,000円/1人

交付方法 半期ごと交付 (4月・10月) 300,000円×会派所属議員数×1/2

2 歴代議長及び副議長

歴代	議長	就任年月日	退任年月日	歴代	副議長	就任年月日	退任年月日
1	元場千博	H.17. 5.17	H.18. 5.10	1	鈴木正孝	H.17. 5.17	H.18. 5.10
2	馬淵源一	H.18. 5.10	H.19. 5.17	2	藤森康行	H.18. 5.10	H.19. 5.17
3	河島直明	H.19. 5.17	H.20. 5.14	3	高安和雄	H.19. 5.17	H.20. 5.14
4	鈴木晴久	H.20. 5.14	H.21. 4.23	4	早川勝次	H.20. 5.14	H.21. 4.23
5	八木啓仁	H.21. 5.12	H.22. 5.14	5	鈴木昭二	H.21. 5.12	H.22. 5.14
6	河島直明	H.22. 5.14	H.23. 5.13	6	加藤治吉	H.22. 5.14	H.23. 5.13
7	小野泰弘	H.23. 5.13	H.24. 5.14	7	川村孝好	H.23. 5.13	H.24. 5.14
8	加藤治吉	H.24. 5.14	H.25. 4.23	8	玉田文江	H.24. 5.14	H.25. 4.23
9	鈴木昭二	H.25. 5.13	H.26. 5.14	9	岡 實	H.25. 5.13	H.26. 5.14
10	小野泰弘	H.26. 5.14	H.27. 5.15	10	増田暢之	H.26. 5.14	H.27. 5.15
11	加藤治吉	H.27. 5.15	H.29. 4.23	11	鈴木喜文	H.27. 5.15	H.29. 4.23
12	増田暢之	H.29. 5.15	R.元. 5.20	12	松野正比呂	H.29. 5.15	H.30. 5.14
				13	寺田幹根	H.30. 5.14	R.元. 5.20
13	寺田幹根	R.元. 5.20	R.3. 4.23	14	加藤文重	R.元. 5.20	R.2. 5.18
				15	高田正人	R.2. 5.18	R.3. 4.23
14	寺田幹根	R.3. 5.17	R.5. 5.18	16	松野正比呂	R.3. 5.17	R.4. 5.16
				17	芥川栄人	R.4. 5.16	R.5. 5.18
15	鈴木喜文	R.5. 5.18		18	岡 實	R.5. 5.18	R.6. 5.17
				19	松野正比呂	R.6. 5.17	

3 委員会

(1) 常任委員会

(単位：人)

名 称	定数	現員数	所 管 事 項
総務委員会	9	8	総務部、企画部、自治市民部、消防本部、危機管理課、会計課、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項
民生教育委員会	9	8	健康福祉部、こども部、教育委員会及び市立総合病院の所管に属する事項
建設産業委員会	8	8	経済産業部、建設部、環境水道部及び農業委員会の所管に属する事項
予算決算委員会	25	24	一般会計、特別会計及び企業会計の予算及び決算に関する事項
広報広聴委員会	7	7	議会の広報及び広聴に関する事項

(2) 議会運営委員会 定数 9人

(3) 常任委員会（総務・民生教育・建設産業・予算決算・広報広聴）

及び議会運営委員会正・副委員長

		総 務	民生病院	文教産業	建設環境	議会運営
H.17. 5.17～	委員長	馬淵 源一	早川 勝次	玉田 文江	寺田 仁一	河島 直明
H.18. 5.10	副委員長	藤森 康行	山際 今子	大庭 隆一	山田 安邦	高安 和雄
H.18. 5.10～	委員長	佐々木信仁	小木 秀市	大庭 隆一	山田 安邦	鈴木 晴久
H.19. 5.17	副委員長	高安 和雄	川村 孝好	増田 暢之	岡 實	鈴木 昭二
H.19. 5.17～	委員長	野崎 正藏	石野 泉	川村 孝好	鈴木 昭二	鈴木 正孝
H.20. 5.14	副委員長	宮澤 博行	大庭 隆一	岡 實	加藤 治吉	山田 安邦
H.20. 5.14～	委員長	宮澤 博行	八木 啓仁	岡 實	加藤 治吉	山田 安邦
H.21. 4.23	副委員長	増田 暢之	高梨 俊弘	小木 秀市	山際 今子	寺田 仁一
H.21. 5.12～	委員長	岡 實	加藤 治吉	玉田 文江	増田 暢之	山田 安邦
H.22. 5.14	副委員長	高梨 俊弘	根津 康広	稲垣あや子	鈴木 喜文	小木 秀市
H.22. 5.14～	委員長	山田 安邦	根津 康広	玉田 文江	増田 暢之	早川 勝次
H.23. 5.13	副委員長	川崎 和子	小野 泰弘	稲垣あや子	鈴木 喜文	野崎 正藏

		総務	民生教育	建設産業	予算	議会運営	
H.23. 5.13～	委員長	鈴木 喜文	川崎 和子	高梨 俊弘	八木 啓仁	鈴木 昭二	
H.24. 5.14	副委員長	寺田 辰蔵	村田 光司	松野正比呂	早川 勝次	増田 暢之	
H.24. 5.14～	委員長	鈴木 喜文	川崎 和子	山田 安邦	早川 勝次	増田 暢之	
H25.4.23	副委員長	寺田 辰蔵	村田 光司	松野正比呂	岡 實	根津 康広	
H.25. 5.13～	委員長	松野正比呂	寺田 辰蔵	寺田 幹根	川村 孝好	鈴木 喜文	
H.26. 5.14	副委員長	稲垣あや子	高田 正人	加藤 文重	高梨 俊弘	川崎 和子	
H.26. 5.14～	委員長	松野正比呂	寺田 辰蔵	寺田 幹根	岡 實	加藤 治吉	
H.27. 5.15	副委員長	稲垣あや子	高田 正人	加藤 文重	川崎 和子	高梨 俊弘	
H.27. 5.15～	委員長	高梨 俊弘	加藤 文重	寺田 辰蔵	川崎 和子	松野正比呂	
H28.5.17	副委員長	高田 正人	根津 康広	八木 正弘	稲垣あや子	寺田 幹根	
		総務	民生教育	建設産業	予算決算	広報広聴	議会運営
H28.5.18～	委員長	山田 安邦	加藤 文重	寺田 辰蔵	小野 泰弘	松野正比呂	寺田 幹根
H29.4.23	副委員長	高田 正人	草地 博昭	芥川 栄人	高梨 俊弘	細谷 修司	川村 孝好
H29.5.15～	委員長	高田 正人	草地 博昭	岡 實	山田 安邦	芥川 栄人	寺田 幹根
H30.5.14	副委員長	芦川 和美	虫生 時彦	絹村 和弘	加藤 文重	根津 康広	高梨 俊弘
H30.5.14～	委員長	高田 正人	草地 博昭	岡 實	山田 安邦	芥川 栄人	加藤 文重
R元.5.20	副委員長	芦川 和美	虫生 時彦	絹村 和弘	寺田 辰蔵	根津 康広	高梨 俊弘
R元.5.20～	委員長	山田 安邦	鈴木 喜文	芦川 和美	高田 正人	高梨 俊弘	草地 博昭
R2.5.18	副委員長	秋山 勝則	小池 和広	永田 隆幸	絹村 和弘	小柳 貴臣	芥川 栄人
※R2.5.18～	委員長	山田 安邦	鈴木 喜文	芦川 和美	草地 博昭 松野正比呂	岡 實	芥川 栄人
R3.4.23	副委員長	秋山 勝則	鳥居 節夫	永田 隆幸	根津 康広	小柳 貴臣	小池 和広
R3.5.17～	委員長	小池 和広	秋山 勝則	芥川 栄人	岡 實	虫生 時彦	鈴木 喜文
R4.5.16	副委員長	戸塚 邦彦	小栗 宏之	江塚 学	高梨 俊弘	鳥居 節夫	芦川 和美
R4.5.16～	委員長	小池 和広	秋山 勝則	永田 隆幸	岡 實	小柳 貴臣	芦川 和美
R5.5.18	副委員長	戸塚 邦彦	小栗 宏之	鳥居 節夫	虫生 時彦	江塚 学	高梨 俊弘
R5.5.18～	委員長	秋山 勝則	鳥居 節夫	戸塚 邦彦	松野正比呂	永田 隆幸	小池 和広
R6.5.17	副委員長	小柳 貴臣	鈴木 正人	八木 義弘	根津 康広	平田 直巳	江塚 学
R6.5.17～	委員長	小柳 貴臣	鳥居 節夫	戸塚 邦彦	芥川 栄人	永田 隆幸	芥川 栄人
	副委員長	江塚 学	鈴木 正人	八木 義弘	高梨 俊弘	加藤 公人	小栗 宏之

※ 予算決算委員会委員長の任期：草地 博昭 R2.5.18～R2.12.18

松野正比呂 R3.2.19～ R3.4.23

4 活動状況（令和5年度）

（1）本会議・委員会の開催状況

① 会議状況

区 分	会 期	会期日数	会 議 日 数				
			本会議	常 任 委 員 会			
				総 務	民生教育	建設産業	予算決算
5月臨時会	自 5.18 至 5.25	8	2	1	1	1	1
6月定例会	自 6.15 至 7.12	28	5	2	2	1	3
9月定例会	自 9. 8 至10.13	36	7	1	1	1	3
11月定例会	自11.24 至12.22	29	6	1	1	1	2
2月定例会	自 2.15 至 3.22	37	8	3	3	2	3
合 計		138	28	8	8	6	12

② 議決状況

ア 報告及び付議事件

区 分		5 月 臨時会	6 月 定例会	9 月 定例会	11 月 定例会	2 月 定例会	合 計
報 告		2	11	7	3	7	30
市長 提出	予 算	1	3	4	6	18	32
	決 算			13			13
	条 例		4	2	14	17	37
	そ の 他		6	4	2	4	16
	人 事	5	20	1	1	1	28
	諮 問						
小 計		6	33	24	23	40	126
議員 (長) 提出	条 例・規 則		1			1	2
	決 議・意 見 書			2			2
	そ の 他		1				1
	小 計		2	2		1	5
選 挙・選 任 等		10	2	1	2	2	17
請 願				1	1		2
陳 情			1				1
合 計		18	49	35	29	50	181

イ 審議結果

区 分	5 月 臨時会	6 月 定例会	9 月 定例会	11 月 定例会	2 月 定例会	合 計
原 案 可 決	1	15	12	21	40	89
修 正 議 決						
修 正 案 否 決						
承 認		1				1
認 定			13			13
同 意	5	20	1	1	1	28
決 定	10	2	1	2	2	17
否 決						
実 施						
撤 回				1		1
継 続 審 査						
審 議 未 了						
採 択 (一 部 採 択)			1			1
不 採 択		1		1		2
取 下 げ						
合 計	16	39	28	26	43	152

(2) 全員協議会開催状況

区 分	会議日数	報 告	協 議
5 月 臨 時 会	2	1	2
6 月 定 例 会	2	1	1
9 月 定 例 会	1	1	
11 月 定 例 会	1	1	
2 月 定 例 会	1	2	1
合 計	7	6	4

(3) 委員協議会開催状況

名 称	開催日数	名 称	開催日数
総 務 委 員 協 議 会	2	民 生 教 育 委 員 協 議 会	1
建 設 産 業 委 員 協 議 会	2		

(4) 各種委員会等開催状況

名 称	開催日数	名 称	開催日数
議 会 運 営 委 員 会	25	選 考 委 員 会	2
議 会 運 営 委 員 協 議 会	6	会 派 代 表 者 会 議	14
議 員 懇 談 会	13	広 報 広 聴 委 員 会	16
議 員 勉 強 会	11	磐 田 市 公 共 施 設 等 マ ネ ジ ム ン ト 検 討 特 別 委 員 会	8
議 員 協 議 会	1	「(仮称)健幸づくり及び地域医療条例」検 討 特 別 委 員 会	6

(5) 請願・陳情の処理状況

- ① 請 願 2件
- ② 陳 情 1件

(6) 意見書・決議の処理状況

- ① 意見書 2件
- ② 決 議 なし

(7) 代表・一般質問者数

(単位：人)

区 分	代表質問	一般質問
6 月 定 例 会		9
9 月 定 例 会		9
11 月 定 例 会	6	3
2 月 定 例 会		10
計	6	31

(8) 傍聴者数

(単位：人)

区 分	本会議	常任委員会等	合計
5 月 臨 時 会	2		2
6 月 定 例 会	12	8	20
9 月 定 例 会	38	13	51
11 月 定 例 会	61	8	69
2 月 定 例 会	28		28
そ の 他		7	7
計	141	36	177

※「その他」の7人は磐田市議会災害等対策会議。

(9) 行政視察（調査）

① 常任委員会

委員会	日数	視察先・講師	視察（研修）事項
総務	3	岡山県瀬戸内市 大阪府池田市 兵庫県尼崎市	1 ダイバーシティの推進について（瀬戸内市） 2 ダイバーシティの推進について（池田市） 3 ダイバーシティの推進について（尼崎市）
民生教育	3	岡山県総社市 京都府京都市 大阪府大東市	1 障がい者福祉について（総社市） 2 子育て支援について（京都市） 3 子育て支援について（大東市）
建設産業	3	愛知県豊田市 岡山県倉敷市 香川県丸亀市	1 カーボンニュートラルの取組について（豊田市） 2 産業振興による市街地の活性化について（倉敷市） 3 カーボンニュートラルの取組について（丸亀市）

② 議会運営委員会

委員会	日数	視察先・講師	視察（研修）事項
議会運営	2	三重県四日市市 三重県松阪市	1 議会改革・活性化の取組について（四日市市） 2 議会改革・活性化の取組について（松阪市）

(10) 会派研修・視察

会派	人数	日数	視察先・会場	内 容
志政会	9	3	広島県 広島県広島市 広島県三次市	1 天井川における被災時の状況と復旧工事のポイント（広島県） 2 大州雨水貯留池（広島市） 3 内水（洪水）対策事業について（三次市）
	7	3	京都府舞鶴市 京都府福知山市 兵庫県西宮市	1 舞鶴版コンパクトシティ+ネットワーク（舞鶴市） 2 公民連携事業としての廃校活用の推進（福知山市） 3 コミュニティ交通支援事業（西宮市）
せいわ会	6	3	青森県六ヶ所村 宮城県石巻市 東京都港区	1 六ヶ所原燃サイクル施設について（六ヶ所村） 2 東日本大震災復興現場について（石巻市） 3 いわた首都圏サテライトオフィスについて（港区）
	6	1	東京都千代田区	公共土木施設災害復旧事業、太田川水系敷地川河川等災害関連事業についての研修会参加
新磐田	6	3	徳島県三好市 岡山県玉野市 滋賀県東近江市	1 廃校に見出す地域活性化策について（三好市） 2 地域公共交通政策について（玉野市） 3 東近江市版S I Bについて（東近江市）
	3	3	栃木県栃木市 茨城県境町 東京都武蔵野市	1 地域自治制度と地域未来ビジョンについて（栃木市） 2 境町自動運転バスについて（境町） 3 コミュニティ施策について（武蔵野市）
日本共産党磐田市議団	2	2	岡山県岡山市	第65回自治体学校 in 岡山参加
市民と創る磐田	1	3	栃木県栃木市 茨城県境町 東京都武蔵野市	1 地域自治制度と地域未来ビジョンについて（栃木市） 2 境町自動運転バスについて（境町） 3 コミュニティ施策について（武蔵野市）

(11) 各都市視察来訪状況

① 来訪

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
都市数	2	1			2		1	8		4	2	1	21
人 員	11	7			21		7	57		45	14	3	165

(12) 市議会刊行物

区 分	発行	発行部数	判型	配 布 範 囲
市 議 会 だ よ り	年 5 回	約 59,500 部/回	A4	市内全世帯
本 会 議 録	年 4 回	80 部/回	A4	市内交流センター・図書館・国立国会図書館
磐 田 市 の 概 況	年 1 回	200 部	A4	行政視察、来客資料

(13) 議会報告会の開催

① 開催日、会場及び参加者数

令和5年10月29日(日)

午前10時～	豊岡中央交流センター	10人
午後2時～	福田農村環境改善センター	3人
午後5時～	iプラザ	27人

② 内容等

ア 議会からの報告

- ・所管事務調査を中心に報告

【総務】 総務委員会について、所管事務調査について、ダイバーシティの推進、今後の取組

【民生教育】 子育て支援について、障がい福祉について

【建設産業】 産業振興による中心市街地の活性化について、カーボンニュートラルについて

イ 意見交換

- ・ワークショップ形式
- ・市民ファシリテーターが進行
- ・テーマA～Cのうち1つ選択し、小グループで意見交換

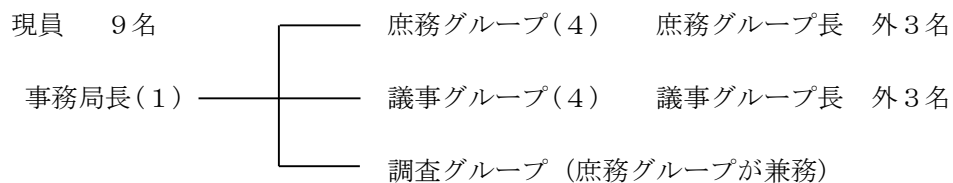
【テーマ】(所管事務調査項目から常任委員会が設定)

- A お隣さんは外国人～地域で共に暮らしていくためには～
- B 磐田市に必要な子育て(孫育て)サポートについて
- C まちの賑わいづくりに何が必要だと思いますか

(14) その他議会の広報・広聴機能

- ① 会議のインターネット及び携帯端末での映像配信(本会議の生中継・録画中継を実施)
- ② 会議録検索システムの稼働(本会議・委員会記録をホームページで公開)
- ③ 市LINE公式アカウントによる情報発信
- ④ 議会「ご意見ポスト」の設置

5 議会事務局機構・職員数(令和6年6月1日現在)



第3行 財政

1 令和6年度当初予算の概要

(1) 令和6年度磐田市予算総括表

(単位：千円、%)

会計名称	6年度予算額	5年度予算額	増減額	伸率		
一般会計	74,240,000	70,110,000	4,130,000	5.9		
駐車場事業特別会計	88,424	86,146	2,278	2.6		
国民健康保険事業特別会計	14,888,036	15,826,494	△ 938,458	△ 5.9		
後期高齢者医療事業特別会計	2,673,197	2,250,302	422,895	18.8		
介護保険事業特別会計	14,073,855	13,862,134	211,721	1.5		
広瀬財産区特別会計	201	202	△ 1	△ 0.5		
岩室財産区特別会計	75	76	△ 1	△ 1.3		
虫生財産区特別会計	106	140	△ 34	△ 24.3		
万瀬財産区特別会計	248	440	△ 192	△ 43.6		
特別会計合計	31,724,142	32,025,934	△ 301,792	△ 0.9		
水道事業会計	収益	収入	2,982,938	3,015,655	△ 32,717	△ 1.1
		支出	2,832,874	2,792,728	40,146	1.4
	資本	収入	634,362	619,316	15,046	2.4
		支出	1,876,188	1,810,092	66,096	3.7
下水道事業会計	収益	収入	6,409,011	6,422,828	△ 13,817	△ 0.2
		支出	6,308,385	6,156,058	152,327	2.5
	資本	収入	2,140,407	2,460,092	△ 319,685	△ 13.0
		支出	3,910,429	4,330,043	△ 419,614	△ 9.7
病院事業会計	収益	収入	20,075,241	19,524,249	550,992	2.8
		支出	20,762,661	20,114,684	647,977	3.2
	資本	収入	2,816,369	1,479,067	1,337,302	90.4
		支出	3,752,909	2,366,068	1,386,841	58.6
企業会計合計 (※)		39,443,446	37,569,673	1,873,773	5.0	
(※) 収益的支出と資本的支出の合計額						
全体合計	145,407,588	139,705,607	5,701,981	4.1		

(2) 一般会計の概要

① 目的別予算の状況 (款別)

歳 入

(単位：千円、%)

区 分 (款)	令和6年度		令和5年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B
	予算額	A 構成比(%)	予算額	B 構成比(%)		
1 市税	28,302,097	38.1	27,495,450	39.2	806,647	2.9
2 地方譲与税	745,000	1.0	683,000	1.0	62,000	9.1
3 利子割交付金	11,000	0.0	13,000	0.0	△ 2,000	△ 15.4
4 配当割交付金	170,000	0.2	140,000	0.2	30,000	21.4
5 株式等譲渡所得割交付金	190,000	0.3	140,000	0.2	50,000	35.7
6 法人事業税交付金	480,000	0.6	470,000	0.7	10,000	2.1
7 地方消費税交付金	4,400,000	5.9	4,600,000	6.6	△ 200,000	△ 4.3
8 ゴルフ場利用税交付金	35,000	0.0	37,000	0.1	△ 2,000	△ 5.4
9 環境性能割交付金	130,000	0.2	110,000	0.2	20,000	18.2
10 地方特例交付金	949,000	1.3	264,000	0.4	685,000	259.5
11 地方交付税	6,900,000	9.3	7,300,000	10.4	△ 400,000	△ 5.5
12 交通安全対策特別交付金	31,000	0.0	41,000	0.1	△ 10,000	△ 24.4
13 分担金及び負担金	1,557,340	2.1	404,594	0.6	1,152,746	284.9
14 使用料及び手数料	695,525	0.9	685,272	1.0	10,253	1.5
15 国庫支出金	10,053,376	13.5	9,189,497	13.1	863,879	9.4
16 県支出金	4,576,395	6.2	4,246,899	6.1	329,496	7.8
17 財産収入	273,202	0.4	344,122	0.5	△ 70,920	△ 20.6
18 寄附金	764,966	1.0	1,005,048	1.4	△ 240,082	△ 23.9
19 繰入金	4,684,557	6.3	3,865,570	5.5	818,987	21.2
20 繰越金	300,000	0.4	150,000	0.2	150,000	100.0
21 諸収入	2,539,142	3.4	2,566,948	3.7	△ 27,806	△ 1.1
22 市債	6,452,400	8.7	6,358,600	9.1	93,800	1.5
歳入合計	74,240,000	100.0	70,110,000	100.0	4,130,000	5.9

歳 出

(単位：千円、%)

区 分 (款)	令和6年度		令和5年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)		
1 議会費	327,090	0.4	335,398	0.5	△ 8,308	△ 2.5
2 総務費	9,132,803	12.3	10,253,032	14.6	△ 1,120,229	△ 10.9
3 民生費	23,693,160	32.0	22,818,822	32.5	874,338	3.8
4 衛生費	6,058,934	8.2	6,480,044	9.2	△ 421,110	△ 6.5
5 労働費	980,980	1.3	1,127,293	1.6	△ 146,313	△ 13.0
6 農林水産業費	4,782,277	6.4	3,423,040	4.9	1,359,237	39.7
7 商工費	1,561,116	2.1	1,457,797	2.1	103,319	7.1
8 土木費	7,425,267	10.0	7,097,988	10.1	327,279	4.6
9 消防費	4,604,863	6.2	2,563,972	3.7	2,040,891	79.6
10 教育費	9,796,364	13.2	8,650,826	12.3	1,145,538	13.2
11 災害復旧費	346,888	0.5	448,411	0.6	△ 101,523	△ 22.6
12 公債費	5,430,258	7.3	5,353,377	7.6	76,881	1.4
13 予備費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0
歳出合計	74,240,000	100.0	70,110,000	100.0	4,130,000	5.9

② 性質別経費の状況

歳 入

(単位：千円、%)

区 分	令和6年度		令和5年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B	
	予算額	A 構成比(%)	予算額	B 構成比(%)			
自主財源	市税	28,302,097	38.1	27,495,450	39.2	806,647	2.9
	分担金及び負担金	1,557,340	2.1	404,594	0.6	1,152,746	284.9
	使用料及び手数料	695,525	0.9	685,272	1.0	10,253	1.5
	財産収入	273,202	0.4	344,122	0.5	△ 70,920	△ 20.6
	寄附金	764,966	1.0	1,005,048	1.4	△ 240,082	△ 23.9
	繰入金	4,684,557	6.3	3,865,570	5.5	818,987	21.2
	繰越金	300,000	0.4	150,000	0.2	150,000	100.0
	諸収入	2,539,142	3.4	2,566,948	3.7	△ 27,806	△ 1.1
	小 計	39,116,829	52.7	36,517,004	52.1	2,599,825	7.1
依存財源	地方譲与税	745,000	1.0	683,000	1.0	62,000	9.1
	利子割交付金	11,000	0.0	13,000	0.0	△ 2,000	△ 15.4
	配当割交付金	170,000	0.2	140,000	0.2	30,000	21.4
	株式等譲渡所得割交付金	190,000	0.3	140,000	0.2	50,000	35.7
	法人事業税交付金	480,000	0.6	470,000	0.7	10,000	2.1
	地方消費税交付金	4,400,000	5.9	4,600,000	6.6	△ 200,000	△ 4.3
	ゴルフ場利用税交付金	35,000	0.0	37,000	0.1	△ 2,000	△ 5.4
	環境性能割交付金	130,000	0.2	110,000	0.2	20,000	18.2
	地方特例交付金	949,000	1.3	264,000	0.4	685,000	259.5
	地方交付税	6,900,000	9.3	7,300,000	10.4	△ 400,000	△ 5.5
	交通安全対策特別交付金	31,000	0.0	41,000	0.1	△ 10,000	△ 24.4
	国庫支出金	10,053,376	13.5	9,189,497	13.1	863,879	9.4
	県支出金	4,576,395	6.2	4,246,899	6.1	329,496	7.8
	市債	6,452,400	8.7	6,358,600	9.1	93,800	1.5
小 計	35,123,171	47.3	33,592,996	47.9	1,530,175	4.6	
歳 入 合 計	74,240,000	100.0	70,110,000	100.0	4,130,000	5.9	

歳 出

(単位：千円、%)

区 分	令和6年度		令和5年度		増減額 C A-B	伸 率 C/B	
	予算額	A 構成比(%)	予算額	B 構成比(%)			
経常的経費	人件費	11,904,110	16.0	11,102,124	15.8	801,986	7.2
	物件費	12,306,561	16.6	11,891,190	17.0	415,371	3.5
	維持補修費	1,255,014	1.7	1,139,994	1.6	115,020	10.1
	扶助費	14,192,430	19.1	13,342,788	19.0	849,642	6.4
	公債費	5,430,258	7.3	5,353,377	7.6	76,881	1.4
	補助費等	6,494,139	8.7	6,749,024	9.6	△ 254,885	△ 3.8
	小 計	51,582,512	69.5	49,578,497	70.7	2,004,015	4.0
その他の経費	積立金	613,589	0.8	3,047,856	4.3	△ 2,434,267	△ 79.9
	投資及び出資金	1,800,377	2.4	1,735,086	2.5	65,291	3.8
	貸付金	857,785	1.2	961,176	1.4	△ 103,391	△ 10.8
	繰出金	4,919,553	6.6	5,317,981	7.6	△ 398,428	△ 7.5
	小 計	8,191,304	11.0	11,062,099	15.8	△ 2,870,795	△ 26.0
投資的経費	普通建設事業費	14,019,296	18.9	8,920,993	12.7	5,098,303	57.1
	災害復旧事業	346,888	0.5	448,411	0.6	△ 101,523	△ 22.6
	小 計	14,366,184	19.4	9,369,404	13.4	4,996,780	53.3
予備費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	0.0	
合 計	74,240,000	100.0	70,110,000	100.0	4,130,000	5.9	

財政力指数

(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度
基準財政需要額 (A)	32,837,123	31,670,570
基準財政収入額 (B)	26,239,129	24,604,678
財政力指数 (B/A)	0.783(0.799)	0.777(0.797)

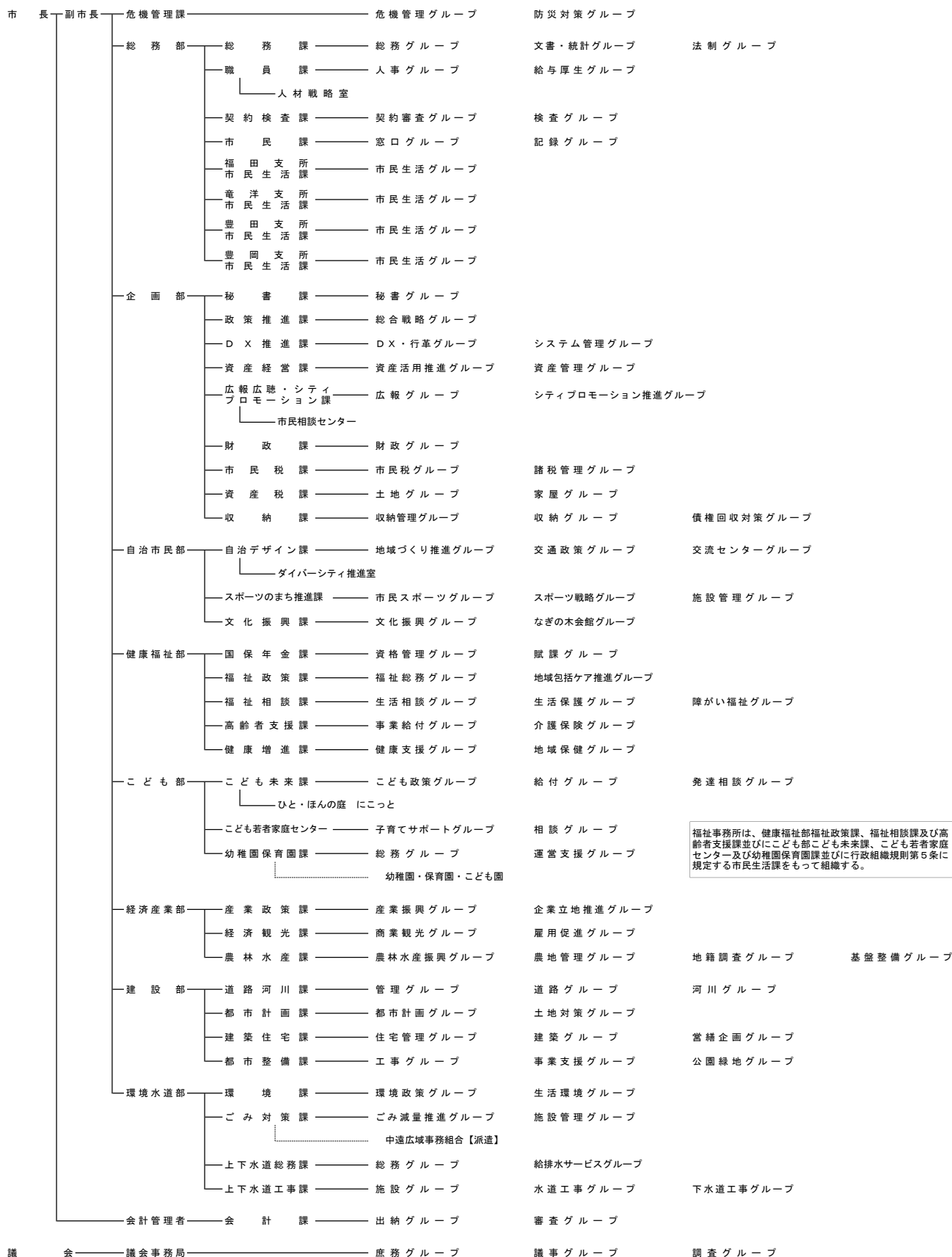
()内は3ヶ年平均

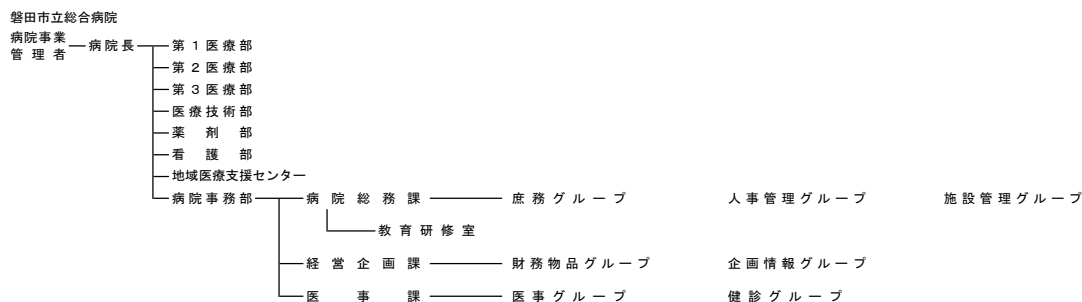
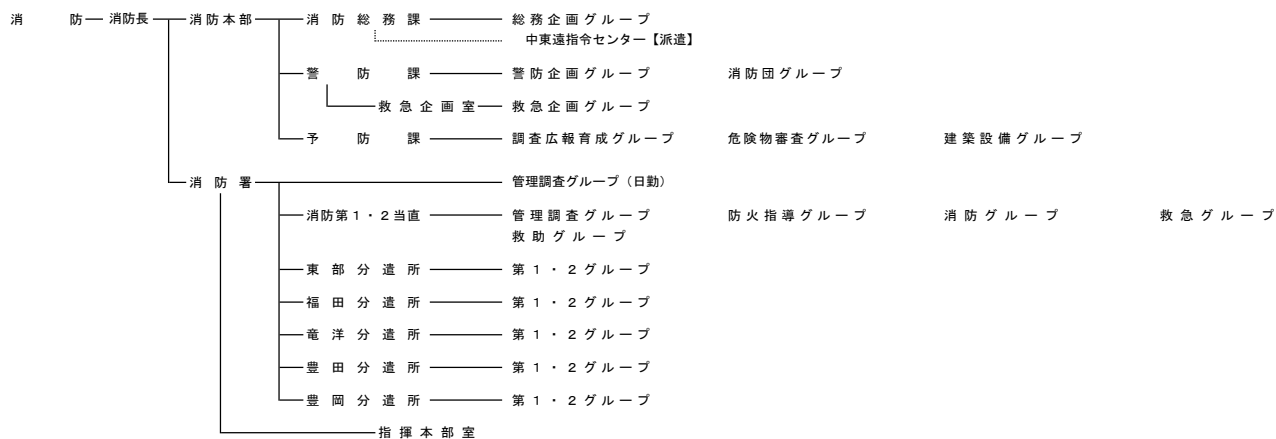
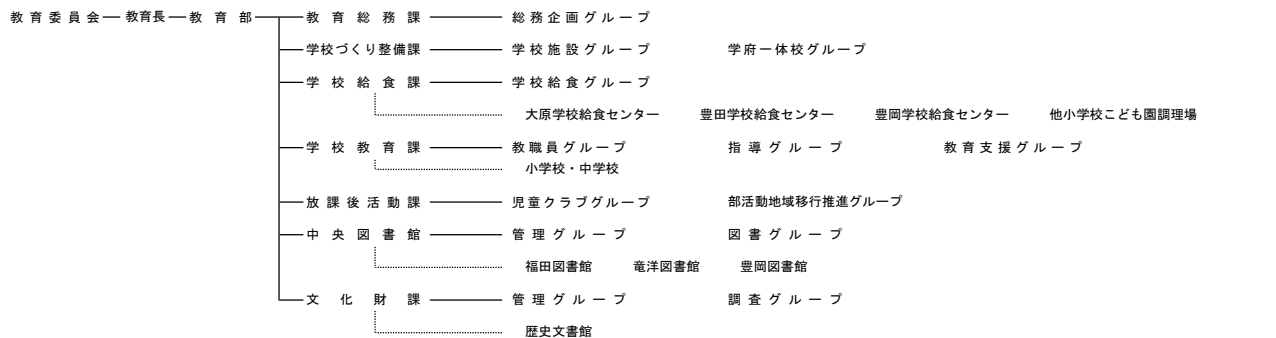
実質公債費比率

区 分	令和4年度	令和3年度
実質公債費比率	1.7(0.9)	2.5(1.7)

()内は単年度数値

令和 6 年度 磐田市 組織機構図





監査委員—監査委員事務局—監査グループ

選挙管理委員会—（総務課内）

農業委員会—農業委員会事務局（農林水産課）

固定資産評価
審査委員会—（総務課内）

公平委員会—（総務課内）

部・課・室・グループの数	部	課	室	グループ
市長部局	8	40	4	85
会計課		1		2
議会事務局	1			3
教育部	1	7		13
消防	1	4	2	28
病院事務部	1	3	1	7
監査委員事務局		1		1
合計	12	56	7	139

※.....の施設は上記表には含めず。

このページは、空白です。

磐田市の概況

編集 磐田市議会事務局
発行

〒438-8650

静岡県磐田市国府台3番地1

電話<0538>37-4822

FAX <0538>37-4845

E-mail : gikai@city.iwata.lg.jp
